

パブリックコメントの結果	
案 の 名 称	台東区新型インフルエンザ等対策行動計画（素案）について
意見募集期間	平成26年6月19日（木）～平成26年7月17日（木）
意見受付件数	4 件
提出された意見と区の考え方（類似する意見は、取りまとめて掲載しています。）	
意 見	区 の 考 え 方 (修正がある場合は、その内容)
地域医療体制の整備の促進と合わせ、フローチャートや発生時のシミュレーションがあった方が有事の混乱が少ないのではないかと。	地域医療体制に関しては、今後、感染症地域医療体制ブロック協議会をはじめ、区内医療機関との協議や訓練の実施を通じ、ご意見を踏まえて整備を促進していきます。
都が指定した医療機関（新型インフルエンザ専門外来を担う医療機関）がどこにあるのか明らかにし、区民に直ちに周知できる体制を整える必要を感じる。	専門外来の受診者は、新型インフルエンザ相談センターからの紹介に限定するため、開設場所は非公開とします。（p42 参照） 新型インフルエンザ発生時の受診方法（相談センターに電話して受診案内を受ける。）については、今後、区民や関係機関への周知に努めていきます。
感染症入院医療機関として登録された医療機関が区内、区周辺にあれば、関連団体に周知できる体制が必要と考える。	発生時に、医療機関や関係団体に対し、対策に係る情報を速やかに提供できるよう、情報連絡体制を構築していきます。
新型インフルエンザが疑われる時の区民の受診先がわかり易い様、あるいは保健所等に確認し易い様周知方法の整備が必要と感じる。	区民や事業者への情報提供については、各発生段階に対応した適切な内容を伝えるための情報提供体制を構築することとしており（p34 参照）、発生時の受診方法についても、広報やホームページをはじめ、多様な手段により情報提供していきます。